

授業科目	成人看護学 援助論演習	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	実務経験
		2年次	1	30		徳本 裕有	有
授業概要	紙面事例患者を通して、疾病や治療が対象に与える影響を理解し、患者の経過やニーズに応じた看護援助について考えることができる。						
回数	授業計画・授業内容						授業方法
1	1. 事例患者に必要な看護を理解するための知識や学習内容を明確にできる。						講義 演習
2	2. 患者の入院目的や疾病・治療の経過から患者に必要な看護方針を考える。						
3							
4	3. 疾病や周手術期の一般的な経過を踏まえて、患者のニーズの充足状況が判断できる。						
5							
6							
7	4. 患者のニーズの充足状況に影響を与えている要因について考え、						
8	看護の必要性を判断する。						
9							
10	5. 患者の看護目標と必要な援助内容を考えることができる。						
11							
12							
13	6. 全体発表会を通して、患者に必要な看護の理解、共有が図れる。						
14	*資料を作成し発表する。 Gで意見交換を行う。						
15	7. 総括 事例のとらえと必要な看護活動について 看護過程を展開する意義・目的について						講義
テキスト	基礎看護技術Ⅰ／医学書院 ザ・ロイ適応モデル／医学書院 基礎看護学〔4〕臨床看護総論／医学書院 看護診断ハンドブック／医学書院						
評価方法	グループワークの取り組み5割 事後レポート5割						
先修条件	看護実践の方法、成人看護学概論、成人看護学援助論Ⅰ・Ⅱの履修						